

お茶の京都DMO

Kyoto Infused with Tea



南山城村 夢絨峡 (京都の自然200選)

二つの大きな渓谷が一つに合流し大きな渓谷となる、古くから景勝とうたわれた絶景。伊賀市から流れてくる伊賀川とも呼ばれる木津川本流と奈良市月ヶ瀬からの名張川が音もなく交わりあって木津川となる地点を「夢絨峡」と呼んでいます。



井手町 まちづくりセンター椿坂

井手町の交流拠点となっている通称「椿坂」は、縁側や囲炉裏があり、ゆっくり過ごせる空間。山背古道ハイキングの休憩処として多くの人が行き交い、どこか懐かしい時間が流れています。各種パンフレットや山背古道MAP、地元のお土産やコーヒーなどもあります。



Discover
Premium
Green

News

第7号

2018.5.8発行

DMO・ボランティアガイド団体連絡会議開催



1月30日(火)、宇治市産業会館において、お茶の京都エリアの観光ボランティアガイド団体とDMOの連絡会議を開催しました。

今後のスキルアップ研修や周遊型連携セミナーなどを開催していくことになりました。

近畿6府県情報交換会参加



参加社に対して、お茶の京都をPR。また、今回は「道の駅お茶の京都みなみやましろ村」からも参加いただきPRを行いました。

日本旅行記者クラブ、レジャー記者クラブ、旅行エージェントなどから、合計43社もの参加がありました。

2月7日(水)、近畿6府県観光情報交換会が東京の都道府県会館で開催されました。

タイ国際旅行フェアに参加



タイのバンコク市、クイーンシリキット国際会議場において、2月7日(水)～11日(日)の間、タイ国際旅行フェアが開催され、日本側からは71団体もの出展がありました。

京都府からは、海の京都、森の京都なども参加しました。お茶の京都では、春の来日を誘導するため、桜特集のタイ語パンフレットを作成し、PRを行いました。DMOのほか、宇治市、宇治市観光協会からも参加をいただき、アンケートも実施し、茶業会議所の協力もあり、1200杯の「水出し玉露」を振舞いました。商談会では、9社の旅行社と商談が実施できました。



タイ語パンフレット制作(1600部配布)

プロモーション会議・京都に参加



阪神・中京・山陽地域からの誘客促進を目的に、同地域に拠点を置く旅行会社との商談会が2月23日(金)に開催され、バス団体旅行を中心に旅行商品を造成している旅行会社との商談会に参加しました。

ホテルコンシェルジュ ファムツアー実施



2月27日(火)、京都市内の主要ホテルのコンシェルジュ、支配人、旅館の女将さん、京都総合観光案内所職員等を対象にバスによるお茶の京都視察・体験ツアーを実施しました。

実際に現地を見ていただき、お茶の京都への理解を深めて、誘客を推進していただく目的で開催したものです。23名の参加がありました。



お茶の京都DMO交通部会の開催



3月16日(金)、お茶の京都の交通に関わる事業者の合意形成・意見集約を目的として交通部会を開催しました。

部会には、西日本旅客鉄道、近畿日本鉄道、京阪ホールディングス、京都京阪バス、奈良交通、山城ヤサカ交通の事業者のほか、京都府の観光政策課、交通政策課、山城広域振興局建設部、農林商工部、企画総務部の職員が出席し、交通状況の共通認識を図り、意見・情報交換を行いました。

第5回 お茶の京都DMO取締役会開催



3月29日(木)、お茶の京都DMO平成29年度第5回取締役会を宇治茶会館にて開催しました。

次の議案について審議・議決されました。

- ① 監査役の交代に係る総会上程案について
- ② 平成29年度第1回補正予算案について
- ③ 平成30年度事業計画案及び予算案について
- ④ 観光地域づくり戦略の最終案について

報告事項では、事業の進捗状況についての審議がありました。

◎DMO役員交代

2月 2日付 新任取締役:岩井 亨 退任取締役:北村善直
4月20日付 新任監査役:小泉一成 退任監査役:井上克巳

『Association de thé Uji』会長による視察



2月21日(水)、パリ在住の宇治茶アソシエーション会長 ジャン=ロベール・ピット氏に宇治茶の生産現場を視察していただき、茶業関係者との意見交換を行いました。ピット氏からは、「美しい景観と美味しい宇治茶のおもてなしへの感謝とともに、今後の講義で宇治茶を例に用いる等、プロモーションに役立ちたい」とのコメントを頂きました。

・視察先

和東町(石寺・釜塚の茶畑)、宇治田原町(湯屋谷)、京都宇治茶房(日本最古の碾茶乾燥炉)、堀井七茗園(抹茶工場、抹茶体験)

◆ジャン=ロベール・ピット氏

パリ・ソルボンヌ大学名誉教授・同大学元学長、「フランスの美食術」のユネスコ無形文化遺産登録申請を目指し、検討・準備を行うために創設された非営利団体「食の遺産と文化のフランス委員会」の委員長として、登録指定に向けた活動を行った際の経験に基づき、「日本食文化の世界無形遺産登録に向けた検討会」に助言等を行うなど、「和食」のユネスコ無形文化遺産登録に大きく貢献した。



DMO 社長	脇 博一
副社長	城福 健陽
監理部長	上岡 和弘
監理部次長兼企画部長	川瀬 章治
事業部長	佐藤 裕
事業部長	鳥井 雅史
事業部長	(新任)堀尾 幸平(4月 1日付)
	(退任)大矢 光彦(3月31日付)

観光力向上講座開催

テーマ:市場流通を知られば見える方策と販路、お茶の京都エリアにインバウンドの潮流を



2月21日 木津川商工会本所

インバウンドに取り組む意義、基礎知識や、お茶の京都はゴールデンルートに近く可能性が高いことや、欧米豪が集中する京都市場の特徴、体験プログラムや地方への関心の高まりなどについて講演いただきました。

講師:森田観光事業支援 森田英一 氏

・2月21日(水)

会場:木津川市商工会本所
参加者:29名

・2月22日(木)

会場:文化パルク城陽
参加者:22名



2月22日 文化パルク城陽

テーマ:地域資源を活かしたソーシャル・ツーリズムビジネスの創出



京田辺市商工会キララホール

顕在した観光資源の磨き上げの手順、観光ビジネス人材への潜在的な観光資源への「気づき」「発見」「発掘」の着眼点について講演いただきました。

講師:(株)美ら地球CEO 山田 拓 氏

3月26日(月)

参加者:24名

JA京都やましろとの連携・協働によるECサイトの開設

JA京都やましろが楽天でECサイトを開設。1月9日(火)から販売開始



JA京都やましろが手がけるオンラインショップ。「地元の生産者さんが作った美味しいお茶を、全国のお客様へ」と、京都府南部産の質の良いお茶を厳選し、産地ならではの価格でお届けしています。



おすすめ商品のほうじ茶は、年間20トンも売れている大人気商品。京都府南部産の茶葉だけを使用しているので、香りが良く、一度飲むと何度も注文されるリピーターも多いです。リーズナブルで普段使いにぴったり。お茶漬けやほうじ茶ラテにアレンジするのもオススメですよ!
スタッフ 畑中

おすすめの商品

